

## 令和8年度 学校経営計画書

学校番号	85	学校名	静岡県立湖西高等学校	校長名	鈴木 啓和
------	----	-----	------------	-----	-------

### 1 スクール・ミッション

湖西市に密着した「グローバル・ハイスクール」として、湖西市・市内各学校・地元自治会・企業との広く強い連携による探究活動、各教科の授業と楽しい行事、充実した部活動を通して、様々な生徒一人ひとりの個性を伸ばし、自ら考え実践し、地域に貢献し、社会・産業を支える人材の育成を目指す。

### 2 目指す学校像

#### (1) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
<p>～湖西高校を卒業するとこのような人になっていることを約束します～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己肯定感が高く、一人ひとりが多様な個性に自信を持ち、それを生かし様々な分野で活躍する人</li> <li>・主体性があり、自ら考え実践し、困難な時も粘り強く乗り越え、それぞれの豊かな人生を切り拓く人</li> <li>・コミュニケーション力が高く、他者との協働を楽しみ、他者に貢献することを自らの喜びとする人</li> <li>・公共心が高く、健全な社会の維持に貢献できる人</li> <li>・地域を愛し、社会・産業を支える中心的存在となり、表現力も豊かで、地域の良さを発信する人</li> <li>・柔軟性があり、新しい視点で地域の課題を発見して解決に取り組み、地域の未来を創造する人</li> </ul>	<p>～湖西高校ではこのような学びと教育活動を行います～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりの心に寄り添いながら、自立した心の育成を図ります。</li> <li>・基本的な生活習慣を確立させ、健康な心身を育てます。</li> <li>・規範意識を高め、公共心と人のために行動できる心を育成します。</li> <li>・授業を中心に、確かな知識・技能を身につけ、思考力を高め、主体的に判断し、自ら表現できる力を育成します。</li> <li>・探究を中心に学びを深化し、教科横断的な授業を推進し、自ら学びに向かう姿勢と課題を発見解決する力を育成します。</li> <li>・広く地域と連携協働し、多様な人材とのふれあいや体験活動により、コミュニケーション力を高め、豊かな社会性・人間性を育成します。</li> <li>・一人ひとりの多様な進路希望を実現する手厚い進路指導を促進します。</li> </ul>	<p>～湖西高校ではこのような生徒を募集します～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夢や希望を持ち、何事にもあきらめず積極的に粘り強く挑戦しようとする生徒</li> <li>・現状に満足せず、新たな学びや体験に興味を持ち、自らの個性を伸ばし成長しようとする生徒</li> <li>・規範意識があり、他者を尊重し、いじめや差別を許さず、弱い人に寄り添ってあげられる生徒</li> <li>・世代を超え、人とのコミュニケーションを大切にする生徒</li> <li>・地元を愛し、より広く深く知ろうとする探究心、貢献していこうとする意欲のある生徒</li> </ul>

#### (2) スクール・ポリシー具現化の柱

- ア 規範意識や基本的な生活習慣の確立（あたり前のことがあたり前にできる生徒の育成）
- イ 授業を基本とした確かな学力の育成（主体的な学びの支援と教職員研修）
- ウ 地域・社会のなかでの探究的な学びの推進と情報発信（地域・社会との協働、相互理解）
- エ 課外活動の活性化（文化活動・スポーツ活動等）
- オ 生徒個々の目標に応じたキャリア・進路指導（進路希望実現に向けた支援体制の充実）
- カ 心身の健康増進と衛生環境づくり（個別支援、教育相談体制の充実と環境美化）
- キ 安心・安全な教育環境の整備（危機管理意識の向上と施設・設備の整備）
- ク 健全で活力のある教職員集団の育成（業務の改善と時間外勤務の削減）

3 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	全教育活動を通じて、安定的な生活リズムの確立を支援する。	初期指導、授業指導（チャイム前着席等）、朝読書指導等により、規律ある学校生活を実現する。 定期的アンケートにより朝食の摂取状況を確認する。	「時間を守り、自立した生活ができている」と答える生徒が95%以上 「朝食を取っている」と答える生徒90%以上 欠席年間5日以内の生徒75%以上	生徒・保健 教 務 学 年
			「朝読書の時間、集中して読書に取り組んでいる」と答える生徒が90%以上	総務・図書
	他者から肯定的にとらえられる生徒を目指し、全教職員一丸となった生活指導と公共心の育成を実践する。	計画的な生徒指導を通じ、あいさつや身だしなみ等の基本的生活習慣について、指導徹底する。 校外活動等を活用して公共心・マナーを高める。 生徒の自主性をルール作りに生かしていく。	「挨拶ができている」と答える生徒88%以上。「きちんとした身だしなみで生活している」と答える生徒97%以上 「マナーを守って登下校している」と答える生徒100%	生徒・保健 学 年 総探地域室
イ	授業を大切にし、授業に集中して取り組む姿勢と、自ら学び、自ら考える力の育成を図る。	全教職員が校内研修等を通じて、生徒の学習意欲を引き出すための授業の改善と研究に努める。	「授業に集中して取り組んでいる」と答える生徒が95%以上	教 務 生徒・保健
	授業等を通じて主体性と表現力の育成を図る。	新聞投稿・論文募集等への応募を実施する。 生徒が自分の力で作品等を作り上げる授業等を研究する。 集会等、多人数の前で発表する機会を提供する。	「授業等で自分の考えをもとに作品・発表原稿等を作り上げた」生徒が50%以上 「クラスを超えた人数の前で自分の意見を発表したことがある」生徒が45%以上	教 務 学 年 総探地域室
	教職員の指導力の向上に向け、校内研修の充実を図る。	授業、進路、生徒指導力向上を図るための研修を行う。	校内研修 年間3回以上の実施 研修終了後、「有益だった」と答える教職員100%	教 務 進 路 総務・図書
	生徒の学力向上に向けて、授業改善に取り組む。	体験活動や身近な問題を取り上げた授業を実施する。 ICT等を活用し、生徒が演習・復習を実施しやすい環境を整える。	「湖西高校の授業はわかりやすい」と答える生徒が90%以上	教 務 進 路 総務・図書 情報管理室
「高校生のための学びの基礎診断」の活用をはかる		分析会を実施、教員間で情報共有、学習指導と学力向上に活用する。		

様式第1号

	生徒の学力向上に向けて、授業改善に取り組む。	学びの拠点としての図書館を活性化させる。	「図書館を授業や探究活動、自習などで利用した」と答える生徒 80%	教 務 路 総務・図書 情報管理室
ウ	地域・社会との連携・協働により学びの深化を図る。	湖西市、商工会、自治会、企業などの地域団体と連携し、体験活動と出前講座を中心に地域・社会について学ぶ機会を提供する。	外部講師による授業・講演年 30 回以上 「地域と連携した活動に参加した」と答える生徒が 75% 以上	総探地域室 教 務 生徒・保健 進 路
	地域や保護者への広報活動の充実を図る。	保護者に対しては連絡ツール、中学生・地域には SNS と HP を中心に情報を迅速に提供する。	「学校行事や進路状況等の情報がわかりやすく伝えられている」と答える保護者が 85%以上	総 務 広報室
エ	課外活動への取り組み意欲を高めるとともに、社会貢献活動の更なる推進を図る。	全教職員で、部活動への3年継続参加について推奨するとともに、生徒会活動の活性化を図る。 地域貢献活動や外部の発表大会への参加を促す。	「部活動、特別活動等課外活動に意欲的・積極的に取り組んでいる」と答える生徒が 95%以上 部活動等による社会貢献活動 15 回以上/年 校外の発表活動等に参加した生徒 15%以上	生徒・保健 総探地域室
オ	生徒たちの多様な進路希望の実現を図る。	3年間を通しての指導計画の下、キャリアタイム（総合的な探究の時間）等を活用して、段階的なキャリア・進路指導を行う。	「進路を考える機会が多い」、「自分の進路や生き方について考えている」生徒 95%以上 進路希望実現 就職希望者：100% 進学希望者：95%	進 路 総探地域室
		課外補講、模擬試験、外部講師による講座等について、生徒のニーズ・実態に合わせて随時、見直し・修正を行う。	左記計画について、随時検証が行われている。必要があれば柔軟に修正が行われている。	進 路
カ	心身の健康増進といじめへの確実な対応	生徒の人間関係能力を高める取り組みを充実させる。	「『いじめを許さない』という雰囲気がある」と答える生徒が 90%以上 「生徒に自信を持たせる指導をしている」と答える生徒 90%以上	生徒・保健 教育相談室
		気になる生徒についての情報を共有化し、組織的に支援する体制を作る。	「信頼して相談できる先生がいる」と答える生徒が 90%以上 生徒の精神状態調査を定期的実施し、活用する。	教育相談室

様式第1号

	安全・安心な環境づくりを図る。	日々の指導を通じて「一線を越える事象」とは何かを指導する。	「湖西高校生は落ち着いた学校生活を送っている」と答える生徒・保護者 90%以上	生徒・保健 学 年
	学校内外の環境整備・美化を図る。	全員清掃を徹底する。 ゴミ処理の徹底を図る。 校内の放置ゴミをなくす。	「清掃にきちんと取り組んでいる」と答える生徒が 98%以上	生徒・保健
キ	危機管理に関する校内体制の強化と地域防災に対する意識の高揚を図る。	生徒の交通安全、防災の意識を高めるため、街頭指導や訓練を定期的に行う。また、地域防災への参加を促す。 災害時、生徒が地域のために率先して活動できるようにするための訓練を実施する	校内外の安全指導 1回/週 月 1回の安全点検	生徒・保健
			「防災訓練等に当事者意識をもって取り組んでいる」と答える生徒が 95%以上	総務・図書
	教育活動の活性化に向け、施設・設備の充実を図る。	不具合等の把握に努め、予算に応じた適切な優先順位付けの下、計画的な修繕を行う。	不具合箇所への迅速対処 100%	事 務
			R 8年度 実施予定の修繕の実施・完了 100%	
ク	校内業務が、職員にとって過重な負担とならないよう、業務の見直しと改善を行う。	業務の在り方、見直しについて一人ひとりが意見を出し、全員で実践出来る体制を整備する。  教職員一人一人が業務の効率化を工夫し、時間外勤務の削減に努める。 A I を活用した業務改善を組織的に実施する。	業務の見直しについて一人一案の募集と全体での検討 年 1回以上	全職員
			定時退勤月 1回、 完全退勤学期 1回 職員室施錠時間 20時 内規の電子化 100% Chatbot 等での活用の検討	